

かんべしゅう

神辺小だより

令和7年1月31日 発行
亀山市太岡寺町1310番地
亀山市立神辺小学校

NO.11 (文責: 加藤)

学校評価アンケートの結果より

学校評価



ご協力
ありがとうございます
ました

2学期に保護者、地域の皆さまには学校評価アンケートにご協力いただきました。ありがとうございました。アンケート結果について報告します。今回、皆さまからいただきましたご意見を真摯に受け止め、これからの神辺小学校の教育活動に活かしていきたいと考えております。今後ともご理解・ご支援のほど、どうぞよろしくお願い致します。

《児童アンケート》

- 「1 学校生活が楽しい」と感じている児童の割合は98%となっています。「楽しい」と感じることは、子どもたちの生活意欲や学習意欲全般に関わっていくことですので、今後も日々の授業づくり、なかまづくり等について点検し全教職員で取り組んでまいります。「6 たて割り班活動」「13 学校や児童会の行事」についても同様に肯定的回答の高い結果となりました。
- 「5 そうじや係の仕事」「7 登下校のやくそく」の項目については、97%の児童が肯定的意見として回答しました。自分の役割や社会のルールを守ることにについて丁寧に指導評価し、一つずつ身につけさせていきたいと考えます。
- 「15 学校の授業がわかる」について、94%の児童が肯定的に回答しました。国語科、算数科におけるTT(チームティーチング)の授業やICTの活用、学習ボランティア、図書ボランティアさんの協力など、今後も児童の実態に応じて取組を進めてまいります。
- △「20 朝のスキルアップ学習」「21 金曜スキルアッププリント」への取組は9割以上の高い割合で子どもたちが肯定的に回答しました。一方、「19 家での勉強」に関しては3割程度の子どもの「不十分」と回答しました。このことから、与えられた課題にはまじめに一生懸命取り組んでいます。家庭でも主体的に学習に取り組むという点で課題があります。
- △「10 こまっている友達にやさしくできる」について96%の児童が肯定的に回答しました。実際の学校生活でも子ども間でやさしさの感じられる行動を目にすることはたくさんあると感じています。一方、「8 相手に自分の意見が言えた」の項目には1割程度の子どもの消極的回答をしており、今後一層、子どもたちの関係づくりに注力してまいります。

《保護者アンケート》

保護者の皆さまには、多くの項目で肯定的な回答をいただきました。神辺小学校の特徴と思われる項目等について記述します。

- 「4 学校は、子どもたちが安全で安心できる学校環境づくりに努めている」の項目で88%の保護者の方に肯定的回答をいただきました。今後もいじめや暴力を許さない学校づくりを実現するため、道徳、人権教育を大切にして学習面、生活面ともに子どもたちが安心して過ごせる学校を

目指してまいります。

- 「5 学校は地域の環境や人材を積極的に取り入れようとしている」（肯定的回答89%）「6 学校は、保護者や地域の方々と連携しながら子どもたちを指導しようとしている」（肯定的回答86%）という結果でした。今年度も総合的な学習の時間等でたくさんのゲストティーチャー（人権学習・地域学習・特別支援教育）にご来校いただきました。直接お話を聞かせていただいたり、校外での体験的な学習を取り入れたりすることで、より教育効果の高い学習につながったと考えます。児童アンケート「14 校外の人やモノに出会う勉強や体験活動」でも99%が「楽しい」と回答しています。
- △「21・26 子どもは相手の気持ちを考えた態度や言葉遣いができている」の項目では、30%前後の方々が消極的的回答となりました。このことは、児童アンケートの「10 こまっている友達にやさしくできる」（肯定的回答96%）とは相反する面があるといえます。学校・家庭・地域、それぞれの場、TPOに応じた適切な態度が養われるよう取組を進める必要を感じます。
- △「20・25 子どもたちは、場に応じた挨拶ができている」について、20%以上の保護者が消極的的回答となりました。地域アンケートの結果でもほぼ同様の評価となっています。しかし、児童アンケート「2 自分からあいさつができる」の項目では92%の児童が肯定的意見で回答しており、格差のある項目となりました。子どもたちには学校、家庭、地域それぞれの場所で積極的な態度で関われるよう指導してまいります。
- △「19・24 子どもたちは楽しい学校生活を送っている」「23・29 子どもたちは様々な行事や体験活動に意欲的に取り組んでいる」の項目では9割程度の肯定的回答がありました。しかし、「17 教職員は学級目標やその取組状況、学級内での出来事などを定期的に伝えている」については、昨年度より10パーセント程度肯定的意見が減少しました。授業参観、学校だより、懇談会、学校ホームページ等々、様々な機会を作って学校の様子、子どもたちの様子をお伝えしていきたいと考えます。

《地域アンケート》

- 「7 学校は、保護者や地域の方々と連携しながら子どもたちを指導しようとしている」の項目について、100%の肯定的評価をいただきました。PTA活動、学校運営協議会の開催等、また毎日の登下校の見守りや「やなぎっ子教室」の開催等、学校教育へのご理解とご協力をいただいております。これからも引き続き地域とともにある神辺小学校を目指していききたいと考えています。よろしくお願いします。
- △「11 子どもは相手の気持ちを考えた態度や言葉遣いができている」は、昨年度に続き評価の低い項目となりました（消極的評価30%）。保護者アンケートでも同様の結果となっており、子どもたちの実態を表していると考えます。安全安心が保障された学校環境づくりにもつながる観点であり、改めて道徳教育、人権教育の推進を図ってまいります。

《アンケート結果の活用について》

今回のアンケート調査の結果と考察を評価委員（学校運営協議会委員）に説明しご意見を頂戴します。そこでの評価を活かしながら、学校として教育活動の改善・充実に取り組んでまいります。今後、検討していく必要がある事柄として、以下のことを考えています。

- ・道徳及び人権教育の推進（相手の気持ちを考えた態度・礼儀社会的ルール・地域の環境や人材）
- ・教育相談等の定期実施（学校生活が楽しい・子どもたちとの信頼関係）
- ・児童会、委員会活動の充実（学校生活が楽しい・あいさつ）
- ・学力定着のための授業づくり、授業支援、家庭学習の在り方（授業がわかる、基礎学力・地域人材）